

志教育の視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	地域連携及び地域交流
教科・領域等	福祉「生活支援技術」、総合的な探究の時間「福祉」
活動学年等	2・3年次（「福祉」選択生徒）
ねらい	施設実習や介護ロボット講習会、介護ガイダンス、介護ミーティング等を通じて授業で学んだことを更に深化させることで介護人材を育てる一助とする。これらの学びでは地域の医療、介護の専門職から現場での業務について学び、実際に交流することで、専門職としての知識や技術を習得する。また、子ども食堂「あそびーばー」への支援については、地域の課題や実情を知り、問題意識を高め自ら働きかけることで、課題が少しでも解決に向かうよう活動する。また、その中で、積極性や社会性、自主性を養い、将来、地域に有用な人材を育成する。

【実践内容】

【今年度の主な活動】（教科 福祉「生活支援技術」）

- ・施設実習（デイサービスセンター）（2年次）（10月） ・介護ロボット講習会（2・3年次）（11月）
- ・介護ガイダンス（2年次）（11月） ・介護ミーティング（2・3年次）（12月）

【今年度の主な活動】（総合的な探究の時間「福祉」）

- ・子ども食堂「あそびーばー」への募金活動（校内）（3年次）（4月～1月）
- ・物資の支援（生徒のご家庭より協力）（3年次）（通年）
- ・子ども食堂への長期休業中の行事ボランティア（3年次）（8月・12月）
- ・災害時の募金活動（3年次）（台湾地震・能登地震）

【主な活動内容】

1 施設実習

本校では例年、2年次の10月に、市内の高齢者福祉施設に協力を仰ぎ、3日間の通所実習（デイサービスセンター）を実施している。生徒は授業で学習したことを踏まえて、利用者様とのコミュニケーションや介護職員の業務内容について体験的に学ぶ機会を設けている。

2 介護ロボット講習会

様々な介護ロボットを目で見て触れて体験させていただいた。また、認知症VR体験を行うことによって「認知症の世界」を体験することができた。更に、障がい者スポーツである「ポッチャ」をそれぞれのキャップハンディーを設定しながら体験、また、サポートする側の経験も積むことができた。

3 介護ガイダンス

障がい者福祉施設での介護職員の業務内容について職員の方からご説明をしていただき、また、沢山の写真等を使って施設内の様子をご紹介いただいた。介護職員として障がい者福祉施設で働く上でのイメージを持つことができた。障がい者福祉についての理解を深められた機会となった。

4 介護ミーティング

市内の医療・福祉の専門職をお招きして、2年次についてはそれぞれの専門職の業務内容を理解する場を設けた。また、3年次は介護現場の様子を更に学び取るため、「サービス担当者会議」を体験させていただいた。より良い介護を提供するために、沢山のの方々関わっていることを改めて実感することができた。

5 子ども食堂「あそびーばー」への支援・災害時の募金活動

子ども食堂「あそびーばー」への支援については、今年で丸3年を迎える。校内で毎月、生徒、職員を対象に募金活動を行い、子ども食堂へ届けている。また、生徒のご家庭からご協力いただいた日用品や衣類、食品等も併せて届けている。募金活動が難しい夏季と冬季には、行事のボランティアに伺い、子ども達と交流している。また、災害が発生した時にはその都度、募金活動を実施、支援を行っている。

<活動の様子>



デイサービスセンターでの実習(整容)



デイサービスセンターでの実習(食事)



デイサービスセンターでの実習(対話)



施設職員による介護ガイダンス(2年次)



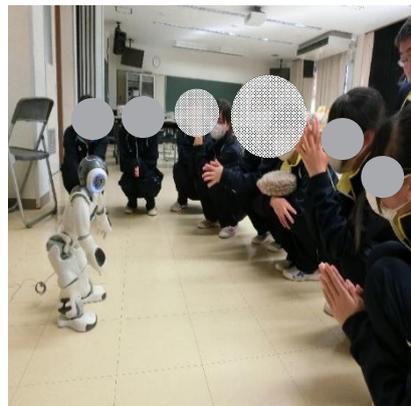
介護ミーティング(2年次)



サービス担当者会議(3年次)



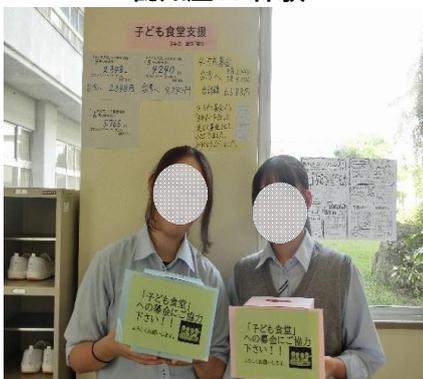
認知症VR体験



コミュニケーションロボット見学



マッスルスーツ着用体験



子ども食堂募金活動



子ども食堂行事ボランティア



子ども食堂お米の支援